

暑い日々ですが、曇りというか、雲が時折太陽を遮ってくれると、ぐ〜んと陽ざしが弱くなり、歩きやすくなりました。

さて、昨日は、久しぶりに休める日曜日、突如思い出したように、映画「君たちはどう生きるか」を観てきました。アニメではありますが、癒される映像でした。情報は、映画のタイトルとポスター1枚だけというお話ですが、タイトルにひかれて、どんな風な物語かなと興味津々、どう展開するのか、なかなかわからず、真剣にドキドキの感じでしたが、そうか〜と伝わってくるものがありました。自然の描写がきれい魅かれる、動物のキャラクターにほっと、安心と面白さ。もやもやの気がかりな現実もすっかり飛んでいき、ホットな気持ちで帰りました。本当は戦争の頃の話であった訳ですが、そこはスルーしていました。(菅野)

目次

- 1 令和5年版厚生労働白書資料編を公表します
- 2 がん分野勤労者医療フォーラムの開催について
- 3 令和4年「労働安全衛生調査（実態調査）」の概況 PPT資料を添付します
- 4 関連情報

1 令和5年版厚生労働白書資料編を公表します

～第1部のテーマは「つながり・支え合いのある地域共生社会」～

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34301.html

令和5年版厚生労働白書は2部構成となっています。その年ごとのテーマを設定している第1部では「つながり・支え合いのある地域共生社会」と題し、単身世帯の増加等を背景に顕在化した制度の狭間にある課題等の現状と、ポストコロナの令和の時代に求められる「つながり・支え合い」の在り方の方向性をテーマとしています。

○[全体版](#) [17,617KB]

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyoy/kousei/22-2/dl/all.pdf>

○[目次](#) [138KB]

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyoy/kousei/22-2/dl/mokuji.pdf>

「令和5年版 厚生労働白書」概要

【第1部】テーマ「つながり・支え合いのある地域共生社会」

- 人口構造や世帯構成等の社会保障を取り巻く環境の変化と、人々の交流に対する意識等について提示しています。
- ひきこもりやヤングケアラーなど、制度の狭間にある課題等の現状と取り組みを整理しています。
- 上記を踏まえ、ポストコロナの令和時代に求められる「つながり・支え合い」の在り方を提示しています。

【第2部】「現下の政策課題への対応」

子育て、雇用、年金、医療・介護など、厚生労働行政の各分野について、最近の施策の動きをまとめています。

2 がん分野勤労者医療フォーラムの開催について

労働者健康安全機構（東京労災病院）では、がんにおける治療と就労の両立支援の取組状況を踏まえて、今後の両立支援のあり方を検討する「がん分野勤労者医療フォーラム」を次のとおり開催します。

このセミナーでは、厚生労働省、東京都大田区内の企業、医療機関及び労働者健康安全機構（産業保健総合支援センター・労災病院）より両立支援の取組状況を講演のうえ、各演者による両立支援に係る現状と課題についてのパネルディスカッションを行います。

■詳細と申込はこちらから → <https://www.tokyor.johas.go.jp>

【事前申し込み制・参加無料】

【日時】令和5年9月30日（土）13時00分～15時45分

【開催形式】Web・会場のハイブリッド開催

(1) オンライン：【Zoom】（先着500名）

(2) 会場：TKP Luz 大森カンファレンスセンター（近隣者優先：30名）

3 令和4年「労働安全衛生調査（実態調査）」の概況 PPT 資料を添付します。

https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/r04-46-50_gaikyo.pdf

< ご参照ください。なお、容量が多いため2回に分けて送信いたします。

「事業所調査」8/28と「個人調査」9/4に分けます。どうぞ宜しくご査収ください。

コピーした内容が多いですので、短く編集されてください。菅野>

4 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス

(1) 第111回ILO総会結果（概要）

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=wSY-s3_88TAA1VITY

会期：令和5年6月5日（月）～6月16日（金）

場所：スイス国ジュネーブ

出席者等：

政府側：羽生田厚生労働副大臣、富田大臣官房総括審議官（国際担当） 他

労働者側：清水日本労働連合総連合会事務局長、郷野日本労働組合総連合会参与 他

使用者側：市村日本経済団体連合会労働法規委員会国際労働部会長、松井日本経済団体連合会労働法制本部参事 他

本総会では、日本政府からは羽生田厚生労働副大臣が代表演説を行い、また「社会正義の実現」をテーマとした「社会正義サミット」に出席。その他、条約及び勧告の適用状況、アプレントイスシップ（徒弟制度）、社会的保護に関する周期的討議、公正な移行に関する一般討議等について議論が行われ、アプレントイスシップに関する勧告や今後の対応策等をまとめた各議題の結論文書等が採択された。

- (2) 介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰受賞者の決定及び表彰式の開催等について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=1zAperypQFi99qBFY>

- ・ [報道発表資料 \[329KB\]](#)
- ・ [内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰優良賞受賞者の取組概要 \[861KB\]](#)

◇ J I L P Tから

- (1) 『日本労働研究雑誌』 9月号を刊行しました！ 特集「労働組合のサステナビリティ」

労働組合の衰退が言われて久しいですが、日本だけでなく先進国や途上国でも見られる事象です。労働組合の弱体化については、産業構造の変化、グローバル競争の激化などの社会経済構造の変化に対応できなかったためと言われています。本特集では、労働をめぐる環境の変化に対し、労働組合がどう対応しようとしてきたのか、もしくはしてこなかったのかを考察し、組合の持続可能性について考えます。

<https://www.jil.go.jp/institute/zassi/backnumber/2023/09/index.html?mm=1894>

- (2) 企業における「人権尊重の取組み促進」に向け、検討会設置／厚労省

厚生労働省は 23 日、第 1 回「国内の労働分野における政策手段を用いた国際課題への対応に関する検討会」を開催した。同省は 2022 年 9 月、国際スタンダードを踏まえた企業による人権尊重の取組を促進するため、「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」を策定。一方で、企業がガイドラインに沿って対処するにあたり具体的な取組方法がわからないという課題もあることから、労働分野での課題に対する解決プロセスや国際協力を推進するための戦略について検討する。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34806.html

- (3) 入職数・離職者数とも、対前年比で増加／2022年雇用動向調査

厚生労働省は 22 日、2022 年「雇用動向調査」結果を公表した。年初の常用労働者数に対する割合である入職率、離職率はそれぞれ 15.2%（前年比 1.2 ポイント上昇）と 15.0%（同 1.1 ポイント上昇）。就業形態別の入職率・離職率は、一般労働者は 11.8%・11.9%、パートタイム労働者は 24.2%・23.1%で、いずれも上昇。産業別では、「宿泊業、飲食サービス業」が入職率 34.6%に対して離職率 26.8%、「生活関連サービス業、娯楽業」で入職率 23.2%、離職率 18.7%と、いずれも入職超過。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/doukou/23-2/index.html>

（報道発表資料）

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/doukou/23-2/dl/siryu.pdf>

（概況全体版）

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/doukou/23-2/dl/gaikyou.pdf>

(4) < I L O > エッセンシャルワークの重要性―

I L O世界の雇用及び社会の見通し2023別冊

ILOは2023年3月、報告書「世界の雇用と社会の見通し2023 エッセンシャルワークの重要性(World Employment and Social Outlook 2023: The value of essential work)」を発表した。ILOは本報告書で、新型コロナパンデミックによるロックダウン(行動制限時)であっても出勤していたエッセンシャルワーカーのことを「キーワーカー」と定義し、これらの人々の重要性と労働環境の改善に向けた提言を示した。

https://www.jil.go.jp/foreign/jihou/2023/08/ilo_01.html?mm=1893

(5) 労働争議270件、過去2番目の低さ／厚生省調査

厚生労働省は23日、2022年「労働争議統計調査」の結果を公表した。ストライキやロックアウトなど争議行為を伴う争議は65件(前年55件)、争議行為を伴わない争議は205件(同242件)で、両者を合わせた「総争議」270件は、過去2番目に低い。主な要求事項(複数回答)は「賃金」が139件(51.5%)で最多。次いで「組合保障及び労働協約」103件、「経営・雇用・人事」98件など。産業別では「医療、福祉」22件、「情報通信業」13件、「製造業」11件の順に多い。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/14-r04.html>

(報道発表資料)

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/14-r04-09.pdf>

(概況)

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/14-r04-08.pdf>

(6)労働政策フォーラム(オンライン開催)参加募集開始! 参加無料

テーマ:企業で働く人の社会貢献活動と生涯キャリア

日時:基調講演・研究報告 9月23日~27日(オンデマンド配信)

事例紹介・パネル討論 9月27日(水)14時~16時30分(ライブ配信)

花王株式会社、NPO法人藤沢市民活動推進機構、個人の実践者 ほか

申込期限:9月22日(金曜)15時まで(要予約・定員1,000人)

https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20230927/index.html?mm=1894

◇ 保健指導リソースガイド メールマガジン から

(1) アルコールが高血圧の原因に 飲酒量が少ない人も血圧が上昇 2万人弱を調査

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/j6hpx9gzv5by/cntht64v/>

(2)【アルコールと保健指導】「超」簡易減酒支援のススメ

面談時に30秒のできるアルコール指導!リーフレットを渡して内容を短く伝えるだけ◎

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/gwdglwcmkpat/cntht64v/>

※保健指導専門職または医療従事者のみ閲覧可能です。

(3) 若い世代でも「脂肪肝疾患」が増加 やせていても体脂肪が蓄積 肥満とどう違う？

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/asiow6lwazb6/cntht64v/>

◇ 【From_M】 から 情報提供有難うございます

◆「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第 10.0 版」の周知について
[59KB]（2023 年 8 月 21 日掲載）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136719.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136666.pdf>

◆【参考 1】新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第 10.0 版 [8.5MB]
（2023 年 8 月 21 日掲載）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136720.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136687.pdf>

◆【参考 2】新型コロナウイルス感染症 診療の手引き・第 10.0 版
改定のポイント [89KB]（2023 年 8 月 21 日掲載）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136721.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136690.pdf>

◆COVID-19 外来診療の基礎知識 [1.6MB]（2023 年 8 月 21 日掲載）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136722.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/001136692.pdf>

◆全国 1 週間の新型コロナ定点患者数は「17.84 人」 5 類移行後最多

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c44a849d2e5d0b774a85bae54743afe2f8d46237>

全国の新型コロナウイルスの患者数が 3 週間ぶりに増加に転じて 5 類移行後、過去最多となりました。厚生労働省によりますと、今月 14 日から 20 日までの 1 週間に報告された 1 定点医療機関あたりの患者数は全国平均で「17.84 人」でした。前の週の「14.16 人」から 1.26 倍に増加しました。

5 月 8 日に新型コロナが「5 類」に引き下げられ、患者数の集計方法が変わって以降、最も高い数字となっています。厚労省幹部は、お盆休みが影響し患者数が増えたとみています。新たな入院患者数は 1 万 3135 人です。

◆精神障害者雇用に関する誤解を解く：パーソル総合研究所

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/column/202308240001.html>

1. 誤解を解く① 精神疾患は「病気」でもあり「障害」でもある
2. 誤解を解く② 精神障害を「障害の社会モデル」で捉え直す
3. 誤解を解く③ 精神障害は症状が安定すれば就労できる
4. 誤解を解く④ 障害者雇用枠での就労は精神障害者・企業双方にとって有効
5. まとめ

- ◆精神障害者雇用のこれまで、そしてこれから ～精神障害者雇用への本気の取り組みが、本質的なダイバーシティ&インクルージョンにつながる～

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/interview/i-202308250001.html>

- ◆精神障害者が安定して定着・活躍する職場とは？

～企業・当事者への最新調査から～の紹介

<https://pro-sangyoui.com/22693>

9月は以下の月間です。

- ・ [がん征圧月間](#)
- ・ [障害者雇用促進月間](#)
- ・ [知的障害者福祉月間](#)
- ・ [健康増進普及月間](#)
- ・ [船員労働安全衛生月間](#)

- ◆しごとより、いのち。 | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/karoushizero/index.html

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

- ◆高次脳機能障害になったら取得できる障害者手帳の種類と条件について |

atGP しごと LABO

<https://www.atgp.jp/knowhow/oyakudachi/%E5%88%B6%E5%BA%A6%E3%83%BB%E3%82%B5%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88/c6163/>

- ◆血液透析患者における心臓突然死リスクと残存腎機能との関連性

わずかに残った尿量すらも、長期の余命と栄養に関連することを発見 名古屋大学

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/research/pdf/Kid_230824.pdf

【ポイント】

- ・新たに血液透析を必要とする患者さんにとって、自身に残っているわずかな腎機能すらも、長期の余命と栄養に有利な影響がある。
- ・残存する腎機能の利点は、老廃物の除去と、余分な水分の排出である。
- ・腎臓病患者さんの健康を守るために、腎臓の機能を保つことや、栄養の状態を向上させる取り組みが広がるのが、今後ますます期待される。

- ◆「代謝の健康」を導く時間運動学のエビデンス 最大の効果を得る運動タイミングは？

<https://sndj-web.jp/news/002397.php>

- ◆中小企業安全衛生研究会 活動報告はこちら

第96回日本産業衛生学会にて下記自由集会（2023年5月12日（金））を行いました。

<https://www.oshsme.com/%E5%AD%A6%E4%BC%9A-%E7%A0%94%E7%A9%B6%E4%BC%9A%E7%AD%89%E3%81%AE%E4%BA%88%E5%AE%9A>

◆「年収の壁」打破への提言(1) 賃上げ定着で5年後の労働供給2%減も

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=105988>

<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/researchfocus/pdf/14409.pdf>

非正規雇用者の労働時間が減少している。2022年には550万人の非正規雇用者が、税や社会保険料などの負担を回避するために労働時間を短縮し、収入を一定の範囲内に抑えている。こうした就業調整者の大半は有配偶の女性である

◆《書籍》労働衛生のしおり 令和5年度<8月下旬発行予定> 中央労働災害防止協会

https://www.jisha.or.jp/order/yohin/index.php?mode=detail&goods_cd=21213

労働衛生に携わる人必携の図書 最新版!

定価 825円(本体750円+税10%) NO.301 (21213)

※キャンペーン期間中は3桁のコードとなります。

全国労働衛生週間向けに、令和5年度全国労働衛生週間実施要綱をはじめ、最近の労働衛生対策の展開を解説。巻頭では職場の健康管理等の最新動向をトピックスで紹介。業務上疾病の発生状況などの統計データ、関係法令、主要行政通達など職場で役立つ資料が満載。

◆2023年度日本産業衛生学会九州地方会 2023年11月11日(土)9:00~産業医科大学

<https://sites.google.com/uoh-wsh.com/jsoh-kyushu-2023/>

*オンデマンド配信の予定はありません。

(1)「化学物質の自律的管理：新たな規制が照らし出す化学物質管理の現状と課題」

上野 晋 (産業医科大学 産業生態科学研究所 所長)

(2)「産業保健分野におけるAI革命 労働者の健康と生産性を向上させるIoTの活用について」

筒井 保博 (福岡産業保健総合支援センター 所長)

特別講演「聴く話術-その目線の高さで伝える言葉」

大神 いずみ (元日本テレビアナウンサー)

◆第28回近畿産業医部会研修会

<https://jsoh-kinki.jp/kinki-001/ohp-2023-seminar/>

2023年11月18日(土)14:00~16:40 エル・おおさか 南館5階 南ホール

テーマ「オンラインを活用した産業保健活動」

基調講演「オンラインを活用した産業保健活動~活用場面と注意点~」

産業保健コンサルティングアルク、遠隔産業衛生研究会 代表世話人)

シンポジウム「オンラインを活用した産業保健活動の実際と今後について」

◆第67回中国四国合同産業衛生学会

<https://chushi-sanei67-matsuyama.jimdofree.com/>

2023年12月2日(土)、3日(日) 愛媛大学城北キャンパス 松山市文京町

学会長:三宅吉博 (愛媛大学大学院医学系研究科疫学・公衆衛生学講座)

メインテーマ:「すべての就業者に産業保健を届ける」

産業医部会研修会 2023年12月2日(土)14:00~16:30

「頭痛症例の治療と仕事の両立支援プラン作成ワークショップ」

◆令和5年度日本産業衛生学会北海道地方会総会を室蘭で開催します。

日時 2023年9月23日(土) 10時00分～16時10分(9:30受付開始予定)

会場 室蘭市市民会館ホール 〒050-0085 室蘭市輪西町2丁目5-1

大会長 佐藤利夫(日本製鉄株式会社 北日本製鉄所)

教育講演「医師の働き方改革～医師の面接指導と産業保健の課題」(医師会単位1)

特別講演「職域の化学物質管理と法」(医師会単位1.5 (北海道地方会医部会企画))

◆公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 -全衛連は、働く人の健康を応援します。

<https://www.zeneiren.or.jp/>

○令和5年度「心とからだの健康推進運動」厚労省、中災防の後援を受け、実施されます。

実施期間：令和5年9月1日(金)～令和5年9月30日(土)

http://www.zeneiren.or.jp/cgi-bin/pdfdata/20230808_R5ri.pdf

◆尾身分科会長、退任へ コロナ禍で政府に助言 専門家会議を刷新

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d537ab942c962cb18fe7f712e38ccd20dda95737>

政府は24日、新型コロナウイルス感染症対策分科会の会長などを務める尾身茂氏(74)を退任させる方針を固めた。

複数の関係者が明らかにした。尾身氏が議長の「新型インフルエンザ等対策推進会議」の陣容を9月に刷新し、尾身氏はメンバーから外れる。分科会も事実上廃止する。

◆あなたの価値は仕事だけで決まらない...「職場がしんどい」人に勧める7つの習慣

<https://news.yahoo.co.jp/articles/82bd337947ad412525f2e401f78f549f5c0c0d3>

日曜日の夜を憂鬱に過ごしていませんか?

精神科医の井上智介さんが「しんどい気持ち」を軽くするポイントを紹介します。

◆アルツハイマー病新薬「レカネマブ」 早期投与で進行を抑制。

どんな症状なら対象患者になる?副作用は?認知症のサインを専門医が徹底解説

<https://news.yahoo.co.jp/articles/31076184d50d3371d683f7e5ef9173d1519c79c8>

小野田 富貴子 (両立支援担当)

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子 (メンタルヘルス担当)

yukikan28@gmail.com